

『みんなの地球を守るには?』



ごみを出さない暮らしの重要さに気づき、数年前から生活を大改革。この本は子どもはもちろん、大人にもぜひ読んでほしい!

(読者ハガキより)

『もしぼくが本だったら』



タイトルにひかれました。すごく共感できて、イラストもシンプルでわかりやすくおもしろかったです。親子での共作というのがさらにいい。

(読者ハガキより)

『オセアノ号、海へ!』



ページをめくると広がる、5つの海とその海の中。美しいイラストレーションとしかけの素晴らしさで、プレゼントにオススメです!

(担当編集者より)

『発明絵本 インベンション』



18の発明の歴史を、驚き溢れる18種類のしかけで表現しています。「子どもだけでなく、発明マインドをもちたい大人にも読んでほしい! - 翻訳者・ウエダノブユキ先生」

(担当編集者より)

『イワンの馬鹿』



トルストイの本をちゃんと読んでいなかったのに、新鮮な驚きを感じながら読みました。解説や訳者のあとがきもとても良かったです。

(読者ハガキより)

『うたをうたうとき』



まどさんのことばからうまれたアートが病院に在って、多くの人の心を動かすように、自然なことのように、涙がこぼれました。

(読者ハガキより)

『ルー、山へ行く』



『ナマケモノのいる森で』『オセアノ号、海へ!』の作家の待望の最新作。テーマは“山”で、すべてのページにオオカミが隠れています(難易度高めです!)。

(担当編集者より)

『小鳥の贈りもの』



個性が強く、息子本人も母である私も苦しさを感じていたとき、担任の先生がこの本を贈ってくれました。「あなたはあなたでいい」と伝えていこうと決めました。

(読者ハガキより)

『キプリング童話集』



イギリス初のノーベル文学賞作家・キプリングが、夜寝る前に子どもたちに話していた物語にハンス・フィッシャーが魅力的な挿絵をつけた幻の作品の初邦訳です。

(担当編集者より)

『オーケストラ』



店頭でひとめぼれ! おしゃれな色合い、1人1人の豊かな表情、旅気分になれる各国の楽しい様子。この本を見てリフレッシュ、元気をもらっています。

(読者ハガキより)

『ルージュベックのだいぼうけん』



赤い鳥、ルージュベックといっしょにいろんな場所を旅する絵本。本についている「まほうのルーペ」で覗くと、あらふしぎ! まったく別の世界が見えてきます。

(担当編集者より)

『キツネと星』



単色の中にも静と動を感じる絵とひきこまれる文章。子供から老人まで読める素敵な本です。

(読者ハガキより)

『バイバイ! むしバイキン』



「ハミガキしないとむしバイキンがくるよー!」と言うと、ちゃんとハミガキするようになりました。すごい効果!! びっくりです。

(読者ハガキより)

『ナマケモノのいる森で』



360度広がる森の中で、発見するよろこびや驚き! ナマケモノがキーになる美しい森のしかけ絵本。SDSsテーマの絵本としても大人気です。

(担当編集者より)

『カシュカシュのまちでかくれんぼ』



本についている「まほうのルーペ」でカシュカシュのまちをのぞいてみると、おどろきとワクワクがたくさんかくれんぼ。きみはなにをみつけられるかな?

(担当編集者より)

『自然あそび フィールドブック』



大人ですがとてもワクワクします。孫のために買いました。一年を通して活動する教材に最適です。

(読者ハガキより)

『きみののぞみはなんですか?』



「おおきな木」と「つくえ」が特に好きです。

1 度目は買わずに帰宅して、「やっぱりあの本いいな」と、数日後に購入しました。 (読者ハガキより)

『絵本といっしょにまっすぐまっすぐ』



「こういうことあるなあ」「ふむふむ」と、親しみをもって読みました。本を含む、子どものころの経験はこれからの人生の糧になるのだなあ。

(読者ハガキより)

『はるなつあきふゆのたからさがし』



子どもと一緒に「たからさがし」をしながらお散歩する時間は、私の大切な“たからもの”です。拾ったものが何か一緒に探せる絵本はとても嬉しい。 (読者ハガキより)

『いろってなあに?』



読み聞かせをして、日本語訳の素晴らしさを実感。「色」を五感で体感できるすばらしい作品です。今を生きるこどもたちに手渡したい絵本。 (読者ハガキより)